

「特別支援教育の現状と課題
～平成さくら支援学校開設から5年目、あおば支援学校開設から2年目を迎えて～」

<p>熊本市 教育大綱</p>	<p>基本方針2：子ども一人ひとりを大切にする教育の推進 【主な事業内容】 ○特別支援教育の推進 ・教職員の専門性向上や個別指導計画の作成等 ・インクルーシブ教育システムの構築 ・特別支援学校の拠点的功能の充実</p>
<p>第2次熊本市 特別支援教育 推進計画への 位置づけ</p>	<p>方針3：連続性のある「多様な学びの場」の充実 【12】特別支援学校の支援の充実 本市の特別支援教育のセンター的機能として、園・小中学校・高校のニーズに応じ、適切な助言・情報提供を行う。</p> <p>○各校からのニーズに応じた積極的な巡回相談の実施(地域支援部) 【成果指標3-①】 R6年度目標：年間巡回相談件数70回</p> <p>○各地区・ブロックでの教員の研修において、支援体制の充実</p> <p>○各特別支援学校の資源を生かした研修の実施 ○校内研修の充実とその成果の発信</p>

<p>学校名</p>	<p>あおば支援学校</p>	<p>平成さくら支援学校</p>
<p>開校</p>	<p>令和2年4月(2年目)</p>	<p>平成29年4月(5年目)</p>
<p>障がい種</p>	<p>学校教育法施行令22条の3に示される知的障害者に該当する児童生徒</p>	
<p>設置学部</p>	<p>小・中学部</p>	<p>高等部</p>
<p>設置目的</p>	<p>○知的障がいのある児童生徒の専門的指導・支援のニーズに応える。 ○本市における特別支援教育の充実をめざし、学校・園、保護者、地域社会に対し、特別支援教育を総合的に推進するための拠点機能を担う施設の拡充を図る。</p> <hr/> <p>○小・中学校と日常的にかかわり合い、相互理解を深める。</p>	
		<p>○知的障がいのある生徒の進路ニーズに応える</p>

熊本市立あおば支援学校

1 在籍者の推移（各年度5月1日現在）

R	小1	小2	小3	小4	小5	小6	小計	中1	中2	中3	中計	全校
2	6	0	1	3	0	4	14	8	1	0	9	21



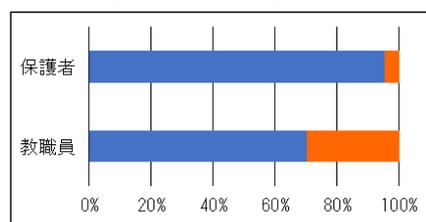
R	小1	小2	小3	小4	小5	小6	小計	中1	中2	中3	中計	全校
3	6	6	2	4	4	2	24	12	8	1	21	45

※R2年度 学校説明会参加者 37人 教育相談 74人

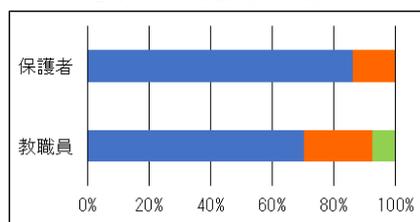
2 現状

○R2学校評価の結果より

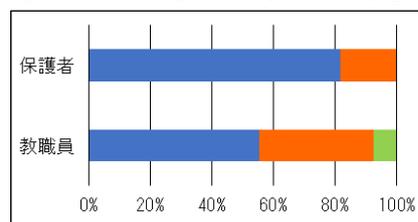
【授業力向上】



【学校の支援体制】



【自立と社会参加に向けた取組】



■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

○特別支援教育のセンター的な役割

- ・学校主催研修会 R2： 2回 R3： 4回（予定）
- ・巡回相談 R2： 32回
- ・校内研修等講師 R2： 5回
- ・熊本県特別支援教育研究会の会長、事務局

○交流及び共同学習（R2年度）

- ・城東小との交流→あおばの紹介動画を給食時間に放映、合同かくれんぼ(城東小児童会主催)、学年別での交流（自己紹介、ゲーム、学校案内等）、R3：合同修学旅行を予定
- ・藤園中との交流→支援学級の生徒と中学部の生徒と一緒に作業学習（名刺づくり）
- ・居住地校交流→紹介文や手紙のやり取りなど、間接交流中心で実施

3 成果(○)と課題(△)

- 児童生徒理解 引継ぎの徹底（支援計画・指導計画）
- 立地を生かした日常的な交流及び共同学習の実施
- △センター的機能の役割と質の高い指導体制の構築
 - 巡回相談等の依頼の増加と学校に対する保護者の期待の高さ
- △学校開校に伴う学校経営基盤の整備
 - 多くの機関との連携、城東小と藤園中との施設の共用

学校の概要

学校種	知的障害特別支援学校
設置学部	小学部・中学部
設置学級数	小学部：1学年1学級 中学部：1学年2学級

*小中学部ともに1学級=6人

めざす学校像



◇みんなが誇れる学校

- ・児童生徒が、毎日喜んで登校する学校
主体的・意欲的に学ぶ学校
- ・保護者が、安心して送り出せる学校
- ・教職員が、生き生きと働く学校

◇特別支援教育のセンター的役割を果たす学校

- ・教職員、保護者等の相談に応える学校
- ・学校（園）へ専門的な助言ができる学校

学校教育目標

児童生徒の教育的ニーズに応じた教育を行うことにより、将来の自立と社会参加のための基盤となる「生きる力」を育成する。

本校の特色

- 城東小学校・藤園中学校と隣接した立地を生かした日常的な交流及び共同学習。
- 児童生徒一人一台のタブレット端末（iPad）、各教室に電子黒板、実物投影機を設置。

年間行事予定



スクールバス

2台のスクールバスが北コースと南コースを走っています。



学校の所在地

〒860-0001

熊本市中央区千葉城町5番3号

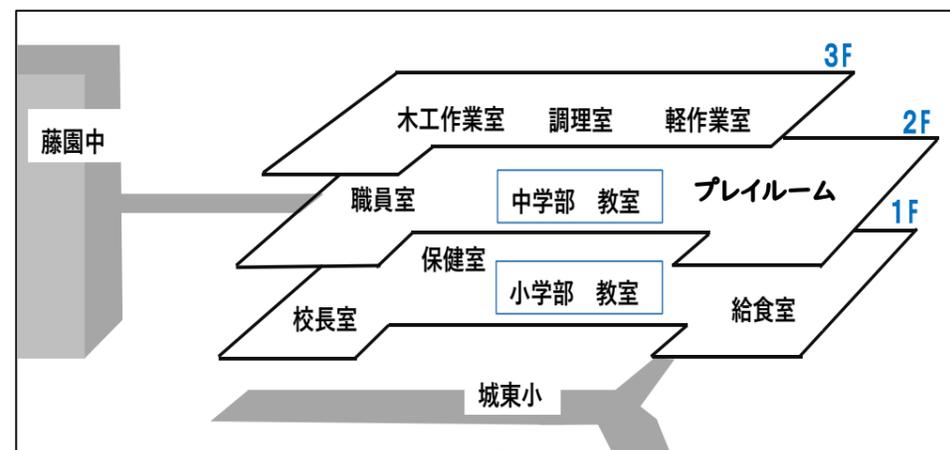
TEL:096-245-6440

FAX:096-245-6449

E-mail
aoba@city.kumamoto.lg.jp

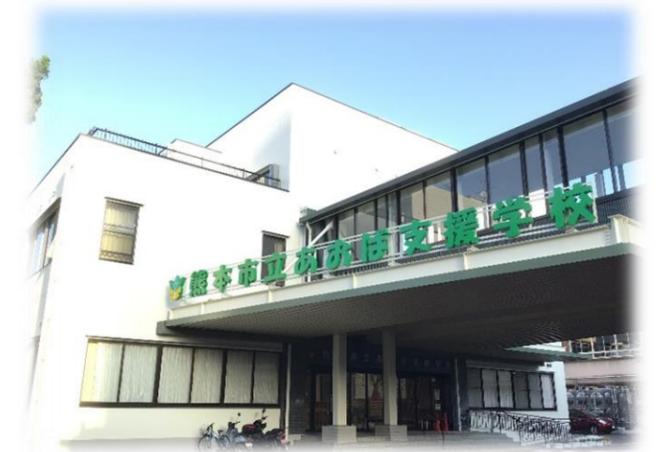


校舎配置図



2020年4月開校

熊本市立あおば支援学校



校訓

明るく なかよく おおらかに



学校ホームページ

小学部



【小学部目標】

子どもの意欲を育み、生活の基盤となる技能や身近な人とコミュニケーションを図る力をもった児童を育成する。

時間割

主体的な学校生活となるよう、見通しを持ちやすく、発達段階を考慮した時間割の編成

1・2年・・・児童の興味・関心を高め、学校生活を楽しむ段階

月	火	水	木	金
【日常生活の指導】朝のしたく・朝の会				
【日常生活の指導】朝の運動				
【特別活動】 【国・算】	【国・算】			
【生活単元学習】				
【日常生活の指導】給食・昼休み				
【日常生活の指導】掃除				
【自立活動】	【日常生活の指導】			
【日常生活の指導】帰りのしたく・帰りの会				

3・4年・・・児童の興味・関心を学習につなげ、積極的に学習に取り組む段階

月	火	水	木	金
【日常生活の指導】朝のしたく・朝の会				
【体育】				
【特別活動】 【国・算】	【国・算】			
【生活単元学習】／【教科別の指導 音／図／体】				
【日常生活の指導】給食・昼休み				
【日常生活の指導】掃除				
【自立活動】	【生活】		【日生】	
【日常生活の指導】帰りのしたく・帰りの会				

5・6年・・・主体的に学校生活を送り、意欲的に学習に取り組む段階

月	火	水	木	金
【日常生活の指導】朝のしたく・朝の会				
【体育】				
【特別活動】 【国・算】	【国・算】			
【生活単元学習】／【教科別の指導 音／図／体】				
【日常生活の指導】給食・昼休み				
【日常生活の指導】掃除				
【自立活動】	【生活】			
【日常生活の指導】帰りのしたく・帰りの会				

学習内容

◇各教科・・・児童の心身の発達段階等を十分考慮し、適切に指導目標を定め、生きる力の育成をめざす。

◎国語・算数・・・学習の基礎となる「日常生活に根差したことばとかず」の習得をめざす。

◎音楽・図工・体育・・・五感を使った学習活動を通して、情操を育む。

◎生活・・・社会や自然との関りについて理解し、思考、表現等を通し、生活を豊かにしようとする態度を養う。

◇日常生活の指導・・・学校生活の流れの中で、望ましい生活習慣を身に付けるため、計画的に指導する。

◇生活単元学習・・・生活の流れやまとまりに基づいて単元を設定し、様々な経験を通して、主体性を養う。(例：学校・地域探検にいこう！)

◇自立活動・・・一人一人の実態に応じた活動をして、よりよく生きていくことを目指す。

中学部



【中学部目標】

自己選択・自己決定する力を育み、夢の実現に向けてたくましく生きる力をもった生徒を育成する。

時間割

縦割り班等指導形態の工夫を図り、全学年共通した時間割の編成

中学部・・・将来の夢に向かって、認め合い、励ましあって努力する段階

月	火	水	木	金
【日常生活の指導】朝の会				
【国語】／【数学】／【理科】／【社会】／【外国語】			【自立活動】	
【特活】	【日常生活の指導】朝の運動			【美術】／ 【職業・家庭】
【生活単元学習】／ 【作業学習】／ 【総合的な学習の時間】			【保健体育】	
【日常生活の指導】給食・昼休み・掃除				
【国語】／【数学】／【音楽】				
【日常生活の指導】帰りの活動・帰りの会				

学習内容

中学部では、次のような学習が始まります。

◇総合的な学習の時間・・・課題解決学習と交流及び共同学習を主な学習とし、生きる力の育成をめざす。

◇作業学習・・・作業活動を中心に据え、働く意欲を培う。

施設紹介



小学部にはトイレを設置してある教室もあります。



全教室に手洗い場があります。

図書室には、リラックスしながら、本を読むことができるスペースがあります。



エアコン完備のプレイルームでは、運動をしたり、集会活動を行ったりします。春にはきれいな桜が見られます。



3階には、調理室や木工作業室、軽作業室があります。



熊本市立平成さくら支援学校

1 在籍者の推移(各年度5月1日現在)

	H29	H30	R1	R2	R3
1年	22	21	25	24	24
2年	—	21	21	25	24
3年	—	—	21	21	25
計	22	42	67	70	73

※R2年度 来校教育相談件数 70件

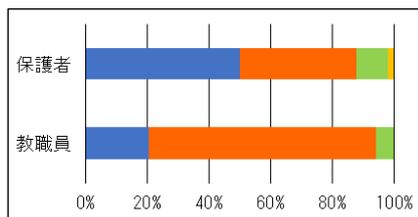
2 卒業生の進路状況

	一般就労						小計	福祉的就労				小計	その他	合計
	小売業	飲食業	保育園等	(市職 環境整備)	運輸業	農業		継続 労A型 支援	継続 労B型 支援	支就 労移行	生活 介護		家事 手伝い	
R1	3	1	1	1	0	0	6	0	10	4	1	15	0	21
R2	5	0	2	1	1	1	10	2	7	1	0	10	1	21

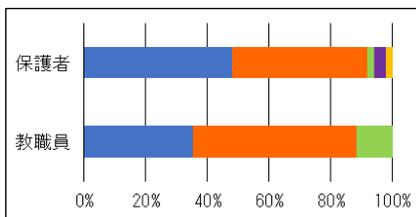
3 現状

OR2 学校評価の結果より

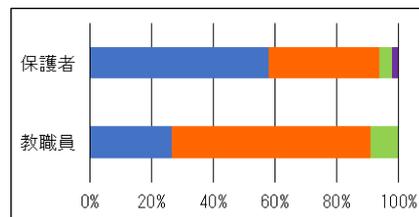
【授業力向上】



【学校の支援体制】



【自立と社会参加に向けた取組】



■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

○特別支援教育のセンター的な役割

- ・担当者向け研修会 R2: 新型コロナのため中止 R3: 8月3日(火) 作業学習体験研修
- ・公開授業研究会 R2: 新型コロナのため中止 R3: 1月21日(金) 実施予定
- ・巡回相談等 R1: 12回 R2: 5回
- ・市立高校における通級による指導 昨年度より必由館、千原台との打ち合わせを実施
- ・一般図書の紹介・貸出 随時実施

○交流及び共同学習(R2年度)

- ・熊本農業高校、総合ビジネス専門学校、熊本支援学校高等部、日吉東小との交流活動を実施
- ・作業製品販売会やカフェ営業を通して、地域の方々との交流を実施

4 成果(○)と課題(△)

○作業学習を中心とした授業づくりの研究による教師の授業力の向上

○職場体験や現場実習など、計画的な就労へ向けた取組による卒業後の進路の保障

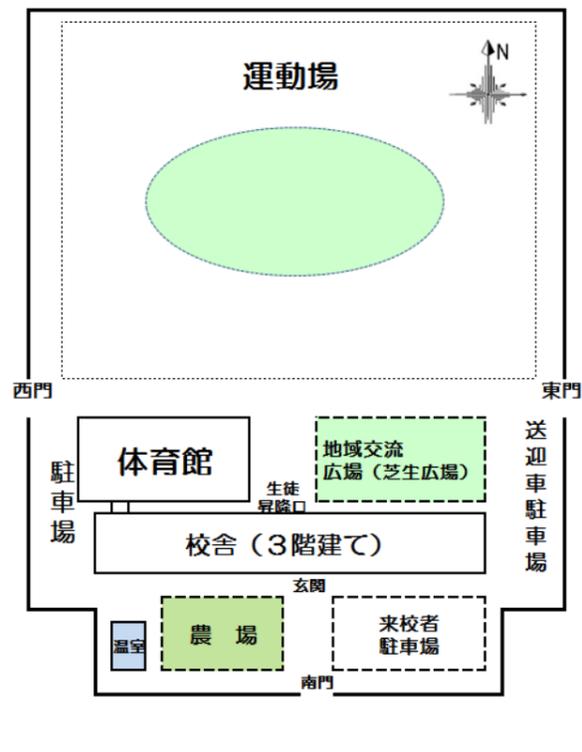
△ニーズの多様化(実態の差、個別対応等)への対応

→専門機関と連携した支援体制、外部講師を招聘した職員研修の計画

△職場開拓の拡充と卒業後のフォローアップの実施

→進路指導主事が中心となって行っているが、今後卒業生が増加してくると対応が困難

こうしゃはいちず
校舎配置図



ほんこう てききのう
本校のセンター的機能

- 来校相談・訪問相談(巡回相談)
…保護者や教職員の相談に応じます。
- 校内研修等への協力
…特別支援教育の校内研修等に職員を派遣します。
- 図書資料や教材の紹介・貸し出し
…図書資料室にはおよそ500冊の一般図書・

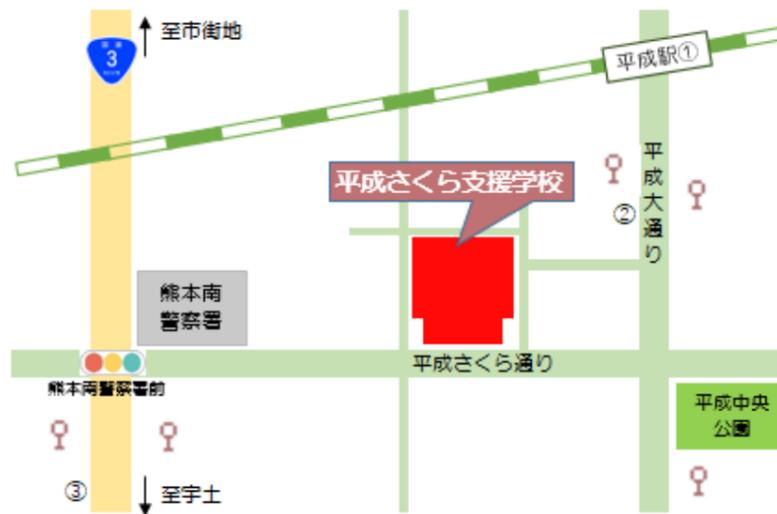
お申し込みや
お問い合わせ、
相談など、
お気軽に
ご連絡ください。



ちいき みなさま
地域の皆様とともに

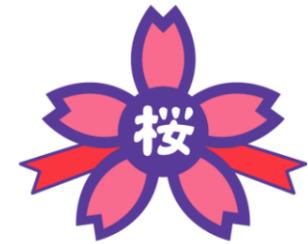
- 交流活動
…小学校や中学校、高校、特別支援学校などと交流します。
- 広報活動
…ホームページや屋外掲示板等で情報発信をします。
- カフェや販売会の実施
…定期的に地域交流室を開放して“カフェさくら”を営業したり、校内でも販売会を実施したりします。実施日について

がっこうあんないず
学校案内図



- 所在地
熊本市南区平成2丁目20-1
- 交通アクセス
①JR平成駅より約500m
②平成町バス停(熊本バス)より約300m
③十禅寺バス停(産交バス)より約800m

学校案内



熊本市立
平成さくら支援学校



〒860-0833
熊本市南区平成2丁目20-1
TEL 096-245-6232
FAX 096-245-6242

E-mail: sakurashienhs@kumamoto-kmm.ed.jp

ホームページ: <http://www.kumamoto-kmm>



がっこうがいよう
学校概要

学校種別・設置学部	知的障害特別支援学校・高等部		
設置学科・学級	普通科・一般学級		
学年・生徒数 (学級数) 令和3年5月1日現在	1年 24人(3学級)	計73人 (9学級)	
	2年 24人(3学級)		
	3年 25人(3学級)		

がっこうきょういく
学校教育

こうくんと
校訓

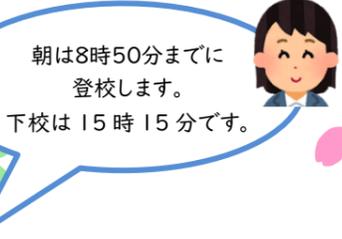
じりつ ゆめ ちょうせん
自立・夢・挑戦

せいとぞう
めざす生徒像

せいと たくましい生徒
せいと のぞみ、かなえる生徒
せいと のびゆく生徒

きょういくもくひょう
教育目標

せいとひとり
生徒一人ひとりの個性を伸ばし、
じりつ いちから いくせい
自立のための生きる力を育成する



きほん じかんわり
基本の時間割

学年	月			火			水			木			金		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
1	8:50 ~ 9:50 (1.2) 日常生活の指導(着替え・朝の会)														
	日常生活の指導(朝の運動)									日常生活の指導(朝の運動)					
2	10:00 ~ 10:50 (1.0) LHR			作業学習									職業/総合的な探究の時間		
	生活関連学習												生活関連学習		
3	10:55 ~ 11:35 (0.8) 生活関連学習			作業学習									生活関連学習		
	11:35 ~ 12:15 (0.8)												生活関連学習		
4	12:15 ~ 13:25 給食・昼休み														
	13:25 ~ 14:15 (1.0) 国語/数学/自立活動									作業学習			選択学習		
5	14:15 ~ 15:15 (1.2) 掃除			日常生活の指導(個別学習、帰りの会)									掃除		
	15:15 ~ 16:00 (1.2)												掃除		

※ 特別な教科道徳については、教育活動全般を通して行う。

えんかく
沿革

平成29年 4月 1日	開校
平成29年 4月 10日	第1回入学式
平成29年 10月 20日	開校記念式典
平成30年 7月 10日	“カフェさくら”オープン
平成31年 1月 30日	福祉子ども避難所に指定
令和2年 3月 1日	第1回卒業式

おも ねんかんぎょうじ
主な年間行事

- 4月: 入学式
家庭訪問
- 5月: 体育大会
PTA総会
3年現場実習
2年職場体験
- 6月: 1年職場見学
- 7月: オープンスクール
- 9月: 1年宿泊学習
1年職場体験
3年現場実習
- 10月: 入試説明会
2年現場実習
- 11月: 秋桜祭
1年職場体験
- 12月: 2年修学旅行
生徒会役員選挙
- 1月: 1年職場体験



体育大会



現場実習



オープンスクール



修学旅行

生活関連学習
生活に必要な基礎的、基本的な知識や技能について学んだり、体験したりします。



選択学習
1つのことを極めて、自分を磨くことで、余暇活動の充実をめざします。

さぎょうはん
作業班



農園芸



木工



食品加工



手芸



サービス

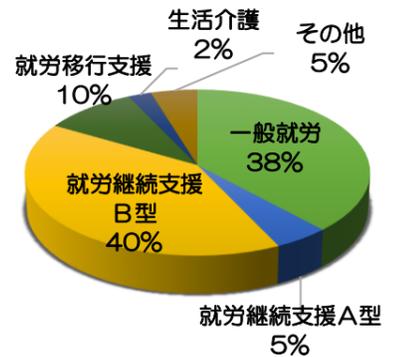


そつぎょうご おも しんろ
卒業後の主な進路

卒業後は、一般就労の他、就労継続支援(A型・B型)、就労移行支援、生活介護等の福祉サービスが行われる事業所、高等技術専門校等が主な進路先となります。本人のニーズに応じた進路先を、ともに考えていきます。

過去2年間の卒業生進路実績

	R元	R2	計
生活介護	1	0	1
就労移行支援	3	1	4
就労継続支援B型	10	7	17
就労継続支援A型	0	2	2
一般(企業等)就労	6	10	16
その他	1	1	2
小計	21	21	42



【一般就労】

一般企業において、障害者雇用枠で雇用されること

【福祉的就労】

障害者総合支援法における就労系障害福祉サービスのこと

就労継続支援 A 型	就労継続支援 B 型	就労移行支援
一般企業への雇用が困難な者に、 ① 雇用契約を締結し就労及び生産活動の機会の提供 ② 就労に必要な知識及び能力の向上のための訓練 ③ 最低賃金保証 ④ 社会保険への加入を義務づけ、就労に向けての支援を行う。	一般企業への雇用が困難で雇用契約に基づく就労も困難な者に、 ① 就労及び生産活動の機会の提供 ② 就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練 ③ 工賃その他の必要な支援を行う。	一般企業への就労を希望する者に、 ① 就労体験の提供 ② 就労に必要な知識及び能力の向上のための訓練 ③ 求職活動に関する支援 ④ 適正に応じた職場の開拓 ⑤ 就職後における職場への定着の支援を行う。

厚生労働省「障害者総合支援法における就労支援の概要」より

【生活介護】

常に介護を必要とする人に、昼間、入浴や排せつ、食事の介護などを行うとともに、創作的活動又は生産活動の機会の提供を行う日中活動系障害福祉サービスのこと